



年 組 名前

# 道新でワークシート

## 室蘭企業がMRJ部品

### 永沢機械、道内初の受注

【室蘭】機械部品製造の永沢機械（室蘭）が、三菱航空機（愛知県豊山町）が開発を進める国産初のジェット旅客機「MRJ」の部品製造を受注し、2月中旬にも納入することが分かった。北海道経済産業局によると、道内企業がMRJの部品を受注するのは初めてという。

受注したのは、アルミ合金製の離着陸用制御系部品。長さ約90センチ、直径約18センチの筒状で、内部に直径約8センチの穴をくりぬかずに深くまで切削する精巧な技術が求められる。永沢機械は専用の工具を自作して完成にこぎつけた。

全国の中小企業の航空機産業参入を促すジャパン・エアロ・ネットワーク（大阪）の仲介で、技術指導な

どの支援も受けた。

永沢機械は1956年創業で従業員約40人、年売上高約4億円の中小メーカー。日本製鋼所室蘭製作所などから機械部品の加工を受注しているほか、自動車のギアを鍛造する金型製作でも高い技術を持つ。道内の製造業者などが昨年7月、航空機産業への参入を目指して発足させた「北海道航空ビジネス検討会」の主力メンバーだ。

開発が遅れているMRJは、2020年半ばに初号機を納入する予定。永沢機械は今後、工期短縮やコスト削減に取り組み、MRJJ量産に備え受注増を図る。

さらに、航空・宇宙・防衛関係の品質管理規格「JIS SQ9100」の取得を目指すし、準備を進めている。永

沢社長は「今回の受注を機に、航空機部品製造の幅を広げていきたい」と話す。経産局は「室蘭で培った技術を生かして最先端の産業で受注したことは、道内企業にとって挑戦のきっかけになるだろう」（渡辺泰弘・製造産業課長）と歓迎。三菱航空機は「個別の発注について明らかにしない」としている。（横山清貴）

MRJ 三菱リージョナルジェットの略。三菱重工の子会社、三菱航空機が開発を進める近距離用小型ジェット旅客機。これまでに安全性向上のための設計変更などで納期を5度延期しており、2020年半ばに標準モデル（90席級）の初納入を目指す。21年後半〜22年前半に小型モデル（70席級）を導入予定。

2019年2月6日朝刊全道遅版総合1面(記事は再編集しています)

①見出しに「道内初」とありますが、何が道内初なのか書きなさい。

②MRJ量産に備えて永沢機械が今後取り組もうとしていることを書きなさい。